

令和3年度「学校自己評価(保護者評価)」アンケート結果

- ・ 回答数は234通で、全家庭数に対して85.4%の回答が得られた。
- ・ 評価は、4…当てはまる 3… だいたい当てはまる 2… あまり当てはまらない 1…当てはまらない とした
- ・ 数値は、その評価をした件数を有効回答数(全回答数から「分からない」及び無記入を引いた数)で割った数を百分率で表したものである。

実施内容	学校評価の観点	設 問	評価(%)				
			4	3	2	1	
Iについて ○あいさつの響く環境づくり ○人の心を思い、人とかわる力をつける学級や学年の活動の充実 ○「めいりんタイム」の充実 ○自分の「ことば」で伝える場面づくり	1	生徒会など異学年どうしの関わり、学年行事など同学年どうしの関わりを通して、互いに関わり学びあうことに充実感をもてるようにする。	お子様(または本校生徒)は、学校で友だちや先生に関わり学びあう楽しさを話すことはありますか。	43	40	13	4
	2	生徒が自分の思いや考えをもって学活、総合、生徒会等の活動に取り組めるようにする。	お子様(または本校生徒)は、学校生活で自分の思いや考えをもって様々な活動に取り組んでいると思いますか。	37	52	8	3
	3	校内の掲示物や作品などに、生徒のことばがあふれる環境づくりをする。	校内の作品や掲示物は、生徒の思いや学びの成果が分かるようになっていませんか。	48	49	3	0
	4	他人の意見を尊重し、自分のことばで気持ちを伝えられるようにすることで、居心地のよい学校づくりをする。	お子様(または本校生徒)にとって、学校は居心地のよい場所になっていると思いますか。	40	47	10	3
IIについて ○①～④の視点での授業づくり ○教科のつながりを意識した授業の工夫 ○「節のある授業」の実践	5	学びへの興味・関心を引き出す場面を設定することで、子ども自らが問いを立て、追究しようとする授業をつくる。	お子様(または本校生徒)は、自ら目的意識や問いをもって授業に臨めるようになっていると思いますか。	24	52	22	2
	6	自分の「ことば」を発信し、互いの考えを交流することで、考えの広がりや深まりを感じられるまともを行う。	お子様(または本校生徒)は、友と学ぶ楽しさや楽しさを話すことはありますか。	42	37	16	5
	7	自己の変容や、「できた・わかった」と感じられる学びの振り返りの場をつくる。	お子様(または本校生徒)は、分かりやすい授業を受けていると思いますか。	18	62	18	2
	8	より深く広い学びに挑戦できるように、ICT機器を授業や生活の中で活用する場をつくる。	本校の授業はタブレット等のICT機器を使用することで、よりわかりやすい授業になっていると思いますか。	28	51	19	3
IIIについて ○『明倫の心』を日常生活で実践できる意識化 ○目的を明確にした特別活動の実施 ○自分の生き方を追究するキャリア教育の実践	9	生徒会スローガンをもとに、生徒自らが一会員としての自覚をもち、各委員会の生徒会活動を自分のことと捉えて実践していくような場をつくる。	お子様(または本校生徒)は、生徒会活動に自覚をもって取り組んでいると思いますか。	46	44	8	1
	10	教科や領域の学習を通して、学んだことが世の中でどのように役立っているかを考え、自分の調べたいことをみつけ、探究していく授業をつくる。	お子様(または本校生徒)は、学んだことを生かして、自分で調べたいことを見つけたら、調べようとしていたりしていますか。	22	49	25	4
	11	総合的な学習の時間や学年行事の事前・事後学習を通して、地域とのつながりを深め、地域のために自分は何ができるか考えていく場をつくる。	本校は地域とのつながりを深め、地域のために自分は何ができるか考えていく場をつくっていると思いますか。	25	50	23	3
	12	特別活動、道徳、学級通信などにおいて一人ひとりの良さを取り上げ、認め合える場をつくる。	本校は学級(学年)通信等を通して、一人ひとりの良さを取り上げ認めあえる場を作っていると思いますか。	38	49	11	2

令和3年度「学校自己評価(生徒評価)」生活アンケート結果(12月)

あなた自身の行動について、数字を記入してください。

④:当てはまる ③:だいたい当てはまる ②:あまり当てはまらない ①:当てはまらない

■生徒自身に対する自己評価

	評価項目	評価(%)			
		4	3	2	1
1	あなたは、はきはきとした声での挨拶や会釈(えしゃく)や返事ができている。	52	37	8	2
2	あなたは、「気づき」を大切にされた清掃をし、無言清掃を行っている。	49	41	10	1
3	あなたは、任された学級や生徒会などの活動を「よりよいものにしよう」と心がけて行っている。	58	36	6	1
4	あなたは、ルールで決められている履(は)き物そろえや、正しい服装をしている。	78	20	2	0
5	あなたは、授業、清掃、読書等のスタートの時間を意識し、チャイム着席ができている。	64	32	4	0
6	あなたは、授業や集会で自分の考えを発表したり友と関わろうとしている。	39	38	20	3
7	あなたは、友の良さや多様性を認め、仲間を大切にしている。	78	21	1	1
8	あなたは、地域に目を向け、地域での活動に取り組んでいる。	25	45	25	6
9	あなたは、前向きに家庭学習に取り組み、宿題や課題等の提出期限を守っている。	39	39	16	5
10	自分のもてる力を出して部活動を行っている。(部活動に入っている人のみ。3年生は部活動に入っていた頃を思い出して書いてください。)	79	15	5	1

■生徒自身による二中学生の評価

	評価項目	評価(%)			
		4	3	2	1
11	二中学生は、はきはきとした声での挨拶や会釈(えしゃく)や返事ができている。	62	31	5	2
12	二中学生は、「気づき」を大切にされた清掃をし、無言清掃を行っている。	54	38	7	2
13	二中学生は、任された学級や生徒会などの活動を「よりよいものにしよう」と心がけて行っている。	70	27	3	0
14	二中学生は、ルールで決められている履(は)き物そろえや、正しい服装をしている。	58	34	7	1
15	二中学生は、授業、清掃、読書等のスタートの時間を意識し、チャイム着席ができている。	54	40	5	0
16	二中学生は、授業や集会で自分の考えを発表したり友と関わろうとしている。	67	26	6	0
17	二中学生は、友の良さや多様性を認め、仲間を大切にしている。	73	24	3	0
18	二中学生は、地域に目を向け、地域での活動に取り組んでいる。	62	29	7	2

■学校生活に対する総合的な満足度

	評価項目	評価()			
		4	3	2	1
21	あなたは、充実した(楽しい)学校生活を送っていますか。	58	31	8	4

数値はその評価(12月)を行った件数を回答数で割った数を百分率で示したものである。

学校自己評価のまとめ

保護者向けアンケートより

どの項目においても、多くの保護者の方から肯定的な評価をいただいておりますが、検討を要するご意見もいただいておりますので、分析して次年度に活かしてまいりたいと考えています。また保護者向けアンケートとは別に、職員自身が学校評価をしております。職員の捉えと保護者の方の捉えに大きなずれはなく、職員が感じている課題は保護者の皆様が感じられているものと共通している点が多いと考えました。そこで改めて課題を明確にして次年度に向かいたいと考えています。

■項目Ⅰについて

校内の掲示物や作品があふれる環境づくり、生徒が自分の思いをもって活動する場づくりについて一定の評価を得られましたが、次の点について再度検討を進めていきます。

- (1) 異学年どうし、学年のまとまりの中で、互いに関わり学びあうこと楽しさを実感する活動づくりについて、継続して研究と実践を繰り返していきます。
- (2) 学校が居心地のよい場になっていないと感じている生徒がいることについては、学級や学年の人権感覚を育てるとともに、学年、生徒指導、支援係を交えた組織的な生徒指導・支援を行っていきます。また、教育相談の内容やアセス、QUの結果を総合的に判断して、生徒に適切な支援を継続していきます。

■項目Ⅱについて

多くの生徒(保護者)は分かりやすい授業を受けていると感じており、授業の分かりやすさについては一定の評価を得られたが、約2割の生徒は分かりにくいという思いをもって授業を受けていることから、次の2点について学校全体で研究します。

- (1) 伝える・表現する、ことばの発信について子どもたちが自分の考えを語れる場をつくる。
- (2) ICT教育について、互いの考えが交流しやすくなる授業の効果的な場面を探っていく。

■項目Ⅲについて

生徒会の各週間・旬間、二中祭やそれに至るまでの活動が効果的に働き、生徒自身が意識して学校生活をよくしていこうとすることができました。また学級・学年通信等担任が発信するメッセージについても効果的に働きました。次の項目がやや低かったので、次年度に向けて研究していきます。

- (1) 地域の方との交流や生き方学習など、学んだことが世の中でどのように役立っているかを学ぶ場はどうあったらよいかを研究します。
- (2) コロナ禍でも学校の様子を伝え、地域の役に立つ二中学生のあり方を考える場をつくっていきます。

生徒向けアンケートより

A 自分ではできているが、二中学生はあまりできていないと感じている という傾向の設問

- ・ルールで決められている履(は)き物そろえや、正しい服装をしている。
- ・二中学生は、授業、清掃、読書等のスタートの時間を意識し、チャイム着席ができています。

B 二中学生はできているが、自分ではあまりできていないと感じている という傾向の設問

- ・はきはきとした声での挨拶や会釈(えしゃく)や返事ができている。
- ・任された学級や生徒会などの活動を「よりよいものにしよう」と心がけて行っている。
- ・授業や集会で自分の考えを発表したり友と関わろうとしたりしている。
- ・地域に目を向け、地域での活動に取り組んでいる。

Aのように「周りの友達をもっとしっかりできたらよいのに」と思いをもっている姿と、Bのように「周りの友達のように自分がしっかりできたらよいのに」と思いをもっている姿が共存しています。「あの人はできない」と批判をするのではなく、自分の苦手なことを想像しながら、どんな方法ならみんなができるようになるかを考えさせる場面を作っていきたいと考えています。

保護者の皆様、アンケートへのご協力ありがとうございました。以上ご報告とさせていただきます。